

加工～めっき： 概要

職務遂行のために必要な知識

（概要）

金属やプラスチック、セラミックスの表面を薄い金属の被膜で覆う作業（めっき作業）を行う仕事。めっきは、その方法によって電気めっき、化学めっき、真空めっきなどの種類がある。

（仕事の内容）

めっきの仕事は、めっき工が行うめっき作業と、素材の研摩作業を行う研摩工、めっき液の分析を行う分析試験工、めっき製品の検査工・包装工などのめっき工以外の者が行う関連作業とに大別される。また、めっきには様々な方法があるものの、通常は「電気めっき」と「化学めっき」を指すことが多い。代表的な「電気めっき」の作業内容は、ラックに掛けられた素材を酸・アルカリ・脱脂液・めっき液・水の入った処理槽に何回も出し入れし、その後乾燥を終えためっき製品をラックから外して検査部門まで搬送する、というものである。最近では、ラックの出し入れと搬送などで自動化が進んできており、かつての肉体労働中心から、自動めっき装置による操作・調整作業へ変りつつある。

（求められる経験・能力）

入職に際して、公的資格や免許、学歴などは特に必要ない。

技能検定（めっき）の資格（特級、1級、2級）を取得することで技能が社内で認められて地位が向上することが多い。また、転職時にも、資格保有者は有利である。

めっき工の仕事は、高温多湿の作業環境の中で立ち作業が多く、また有機溶剤や塩酸などの有毒劇物を使用することから、安全面の作業知識及び体力と忍耐力が必要とされる。

（関連する資格・検定等）

技能検定制度 （職種：めっき） 特級 1級 電気めっき作業、溶融亜鉛めっき作業 2級
（1級に同じ）

高度熟練技能者 （職種：めっき）

特定化学物質等作業主任者、有機溶剤作業主任者、公害防止管理者、毒物劇物取扱責任者、などの労働安全衛生面に係る資格